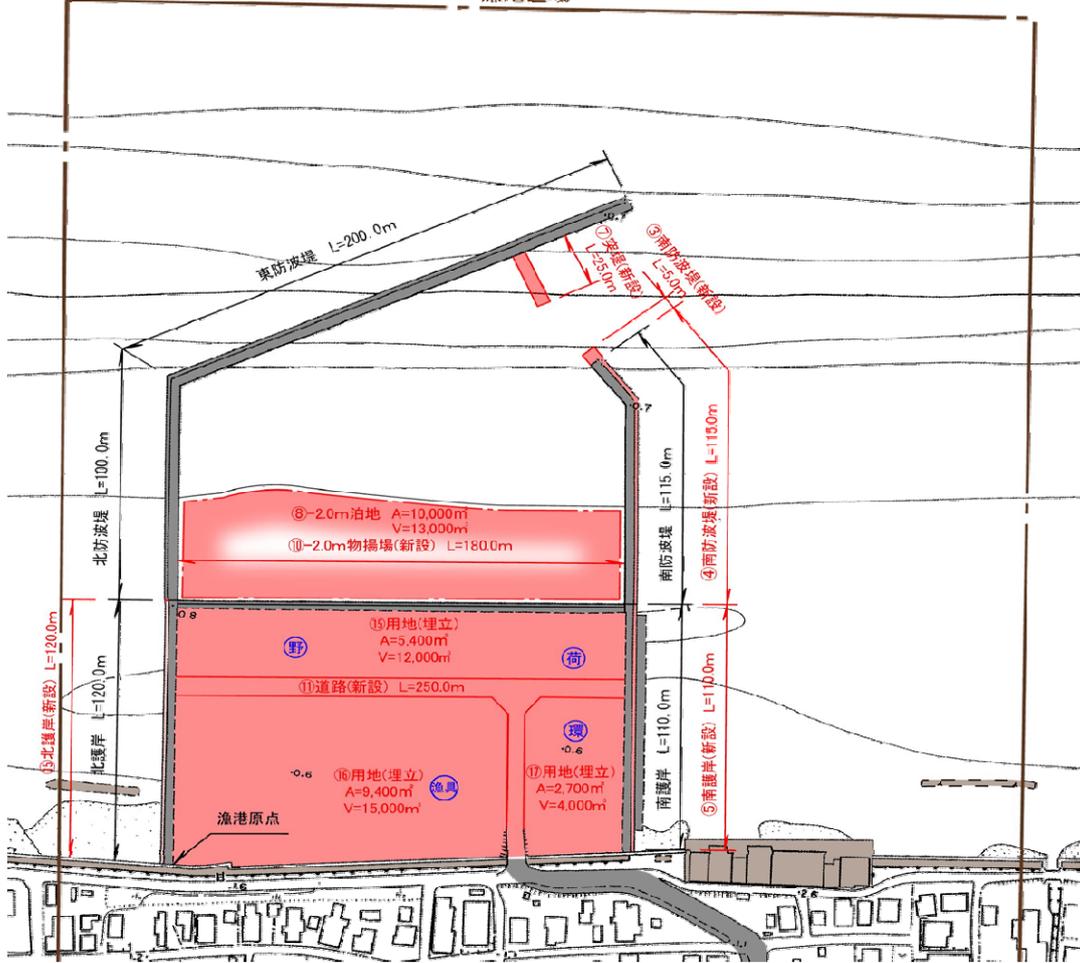




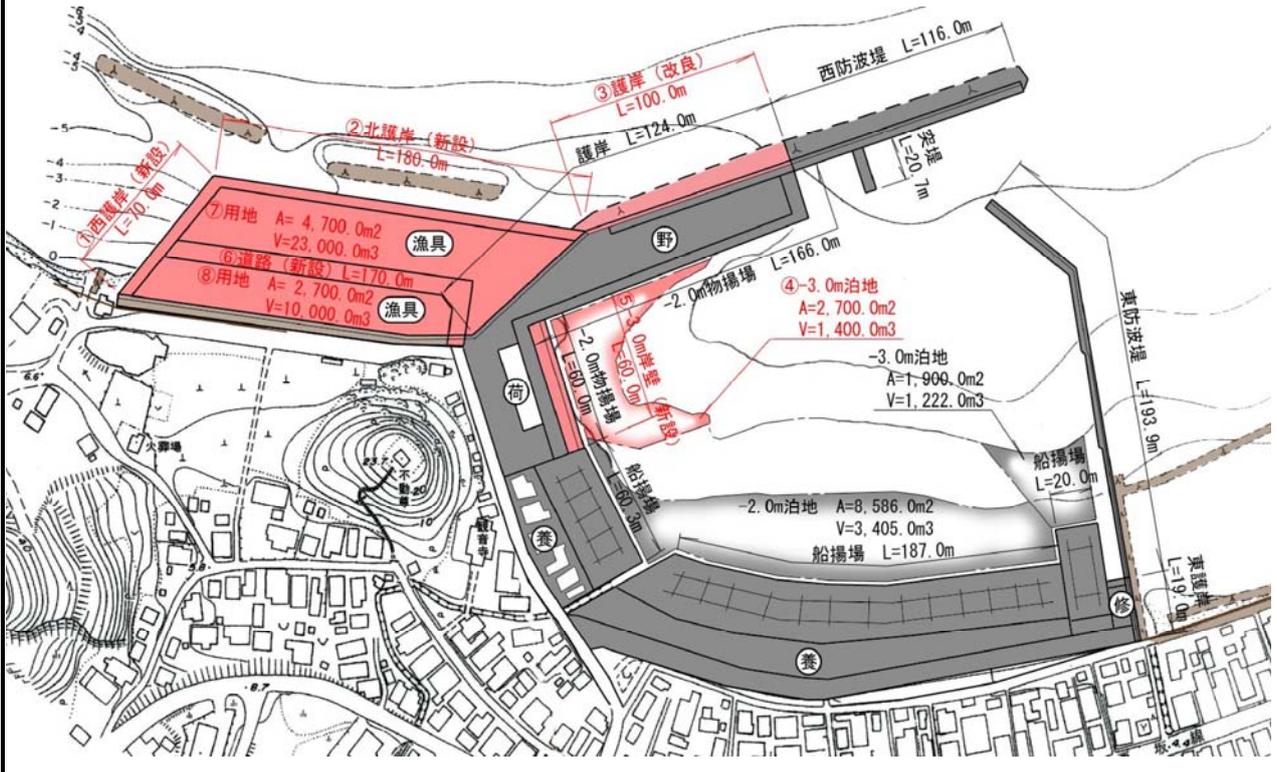
(その2)

奥内漁港(飛鳥地区)

漁港区域



久栗坂漁港



# 事後評価アンケート結果

整理番号 H24 - 2

事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	青森地区
-----	---------------	------	------

アンケート対象	利用者圏域である青森市後潟、奥内、久栗坂漁港の漁港背後集落区域を対象とし、対象集落(官公庁、企業等を除く)に対しアンケート調査を実施した。		
配布方法	漁港に隣接している集落内の世帯を電話帳から抽出し、郵送により配布 (配布部数) 1,166 部	(想定回収率 25%)	
回収方法	郵送(同封した切手貼付返信用封筒)	(回収部数) 351 部	
回収率	30.1%(351/1,166)		
アンケート結果			

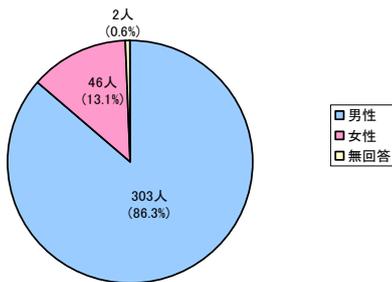
本アンケートでは、回答者の漁港整備事業の認知度や利用によって設問の対象を限定している。これにより管理状況も含めて、必要度や達成度の回答が正確なものとなったと考えられる。特に達成度の回答では、具体的な整備の効果を設問とし、漁港整備の目的を検証している。

表 アンケート回答数と設問の対象数

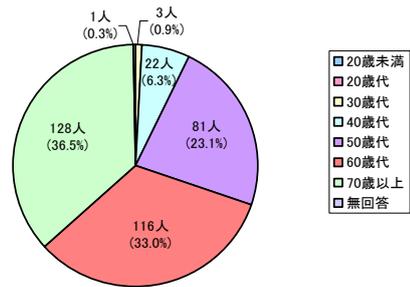
全回答数 (問1~7、9~14)	351
漁業者 (問8-1~8-3、15-1~15-5)	48
漁業者以外 (問8-4)	303

## 1. 回答者の属性

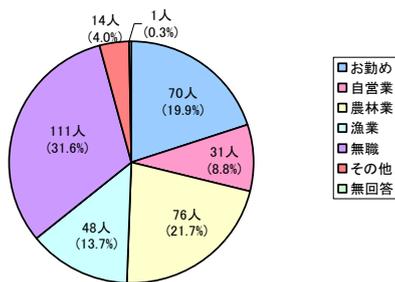
問1【性別】



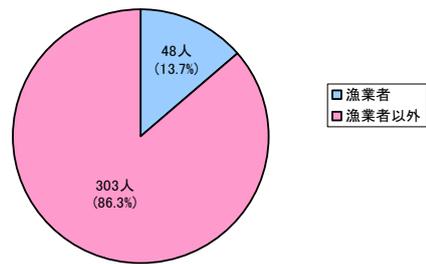
問2【年齢層】



問3【職業】



【回収数に占める漁業者の割合】



# 事後評価アンケート結果

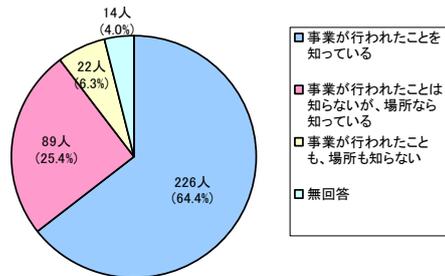
整理番号 H24 - 2

事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	青森地区
-----	---------------	------	------

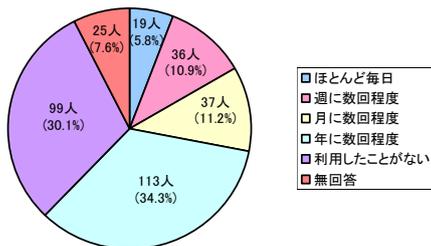
## アンケート結果

### 2. 漁港整備事業について

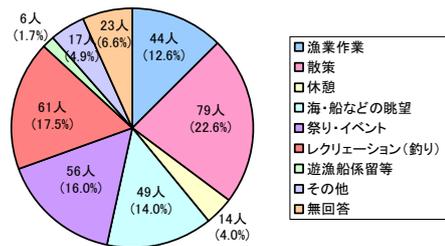
#### 問5-1【認知度】



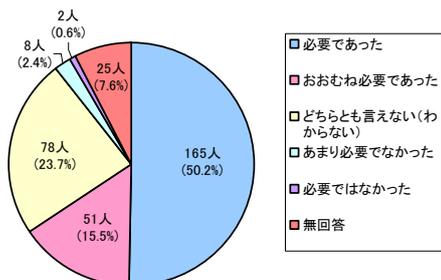
#### 問6-1【利用回数】



#### 問6-2【利用目的】(複数回答可)



#### 問7【必要度】



#### 問7【必要度】

あなたは、地域の基幹産業であるホタテガイ養殖業にとって、この漁港整備事業は、必要であったと思いますか。

- 必要であった(おおむね必要であった)の理由
  - ・漁業作業等の効率化のため(12件)
  - ・基幹産業である漁業(特にホタテ)の発展のため(6件)
  - ・地域の活性化のため(5件)

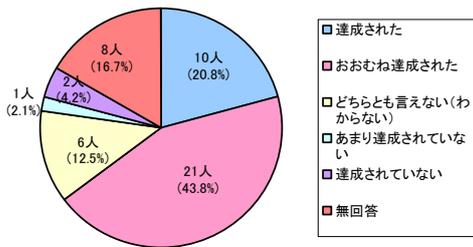
- 必要でなかった(あまり必要でなかった)理由
  - ・悪臭や海底海水の汚れが気にかかる(2件)
  - ・漁業関係者だけが優遇されている(2件)

# 事後評価アンケート結果

整理番号	H24 - 2
事業名	地域水産物供給基盤整備事業
箇所名等	青森地区

## アンケート結果

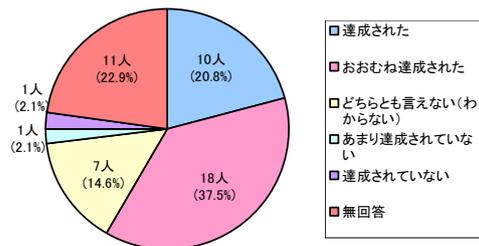
### 問8-1【達成度(漁業作業の効率化)】



問8-1【達成度(漁業作業の効率化)】  
(問3【職業】で「漁業」を選択された方を対象に)  
この事業の完成した結果を見て、事業目的(漁業作業の効率化)が達成されたと思いますか。

- 達成された(おおむね達成された)の理由
  - ・潮待ちによる船揚げ作業待ちが無くなった(2件)
  - ・静穏度向上による漁船上架作業の時間が短縮した(2件)
  - ・陸揚げ作業が効率的になった(1件)
- 達成されていない(あまり達成されていない)理由
  - ・漁港が小さすぎる(1件)

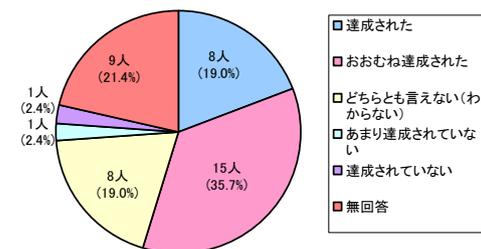
### 問8-2【達成度(漁業活動における就労環境の改善)】



問8-2【達成度(漁業活動における就労環境の改善)】  
(問3【職業】で「漁業」を選択された方を対象に)  
この事業の完成した結果を見て、事業目的(漁業活動における就労環境の改善)が達成されたと思いますか。

- 達成された(おおむね達成された)の理由
  - ・十分なスペースで作業ができるようになったので(2件)
  - ・埋立地の護岸をもう少し高くしてほしい(1件)
  - ・南防波堤からの越波を防ぐ整備をしてほしい(1件)
- 達成されていない(あまり達成されていない)理由
  - ・船小屋を作ってほしい(1件)

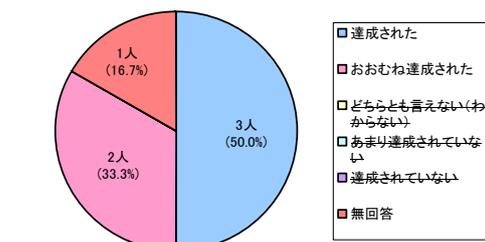
### 問8-3【達成度(漁船被害の軽減)】 ※奥内地区・後潟地区



問8-3【達成度(漁船又は漁具流出被害の軽減)】  
(問3【職業】で「漁業」を選択された方を対象に)  
この事業の完成した結果を見て、事業目的(漁船又は漁具流出被害の軽減)が達成されたと思いますか。

- 達成された(おおむね達成された)の理由
  - ・あまりけが人が出ていないので(1件)
  - ・毎日上下架作業ができるから(1件)
- 達成されていない(あまり達成されていない)理由
  - ・高潮による港内の浸水(冠水)による被害(3件)

### 問8-3【達成度(漁具流出被害の軽減)】 ※久栗坂地区

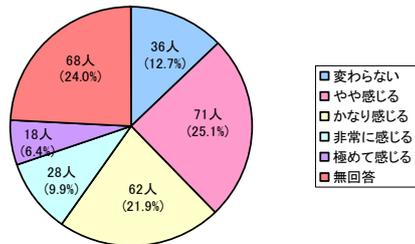


# 事後評価アンケート結果

整理番号	H24 - 2
事業名	地域水産物供給基盤整備事業
箇所名等	青森地区

## アンケート結果

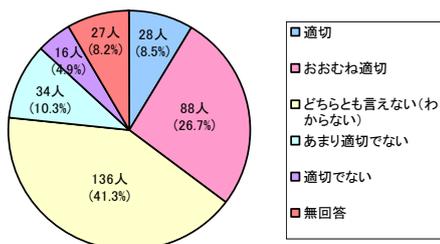
問8-4【達成度(漁港整備後の労働環境、作業効率や安全性の向上)】  
※漁業者の作業状況を見た感想



問8-4【達成度】  
(問3【職業】で「漁業」以外を選択された方を対象に)  
漁港整備後の利用状況をご覧になって、漁業者の労働環境、作業効率や安全性が向上したと感じますか。

- 変わらない(やや感じる)の理由
  - ・作業効率を考えるには屋根付きがよい(1件)
  - ・環境が変わっても、仕事内容は同じで安全面に対しても変化はない(1件)
- 極めて感じる(非常に感じる・かなり感じる)理由
  - ・作業効率の向上(12件)
  - ・作業の安全性の向上(8件)

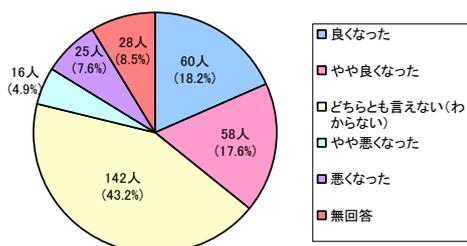
問9【管理状況】



問9【管理状況】  
この事業で整備した漁港は、青森県が管理していますが、管理は適切に行われていると思いますか。

- 適切(おおむね適切)の理由
  - ・きれいに清掃されている(5件)
  - ・釣り人や海を見に来た人がゴミを捨てて行く(1件)
  - ・密漁防止の看板が大変よいのでもっと看板を増やしてほしい(1件)
- 適切でない(あまり適切でない)理由
  - ・漁具が散乱している、整理されていない(9件)
  - ・ゴミが散らかっている、清掃されていない(9件)
  - ・清掃、監視等は漁協まかせ(1件)

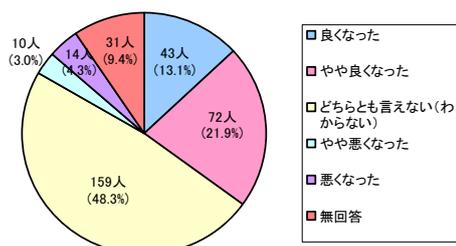
問10-1【環境変化(自然環境)】



問10-1【環境変化(自然環境)】  
漁港の完成により、環境の状況は、整備と比べて、どう変化しましたか。(周辺海岸の状況(砂の堆積、海岸侵食)や魚介類、動植物の生息域の状況の変化などについて)

- 良くなった(やや良くなった)の理由
  - ・砂の堆積、海岸侵食がなく清潔になった(1件)
  - ・漁港周辺に魚介類が増えた(1件)
- 悪くなった(やや悪くなった)理由
  - ・砂の堆積が多くなった(16件)
  - ・海藻が減り、魚介類が減った(6件)
  - ・白鳥の飛来が減った(1件)

問10-2【環境変化(生活環境)】



問10-2【環境変化(生活環境)】  
漁港の完成により、環境の状況は、整備と比べて、どう変化しましたか。(周辺海域の水質、風向風力の変化や悪臭、塩害などの影響について)

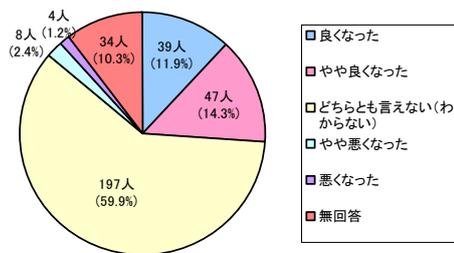
- 良くなった(やや良くなった)の理由
  - ・悪臭が減った又はなくなった(9件)
  - ・塩害が減少した(2件)
- 悪くなった(やや悪くなった)理由
  - ・悪臭がする(12件)
  - ・海水の透明度が悪くなった(1件)

# 事後評価アンケート結果

整理番号	H24 - 2
事業名	地域水産物供給基盤整備事業
箇所名等	青森地区

## アンケート結果

### 問10-3【環境変化(歴史的・文化的環境)】

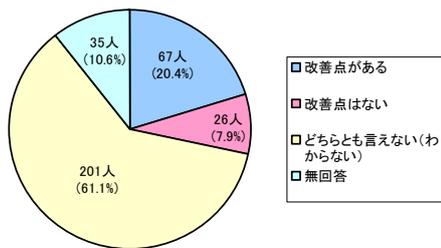


**問10-3【環境変化(歴史的・文化的環境)】**  
 漁港の完成により、環境の状況は、整備と比べて、どう変化したと思いますか。(漁港周辺に存在する文化財や史跡、伝統的なまちなみなどの変化について)

■良くなった(やや良くなった)の理由  
 ・駐車スペースができたので、  
 観音寺近辺のお堂や地蔵をみることができる(1件)  
 ・古い歴史的な物は残り、環境は良くなり  
 調和はとれている(1件)

■悪くなった(やや悪くなった)理由  
 ・砂浜がなくなった(2件)  
 ・一部の漁師が寺社周辺の環境を悪くしている(1件)

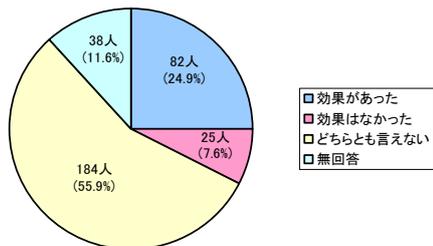
### 問11【改善点】



**問11【改善点】**  
 この事業で行った工事や完成した施設について、改善した方がよいと思う点がありますか。

■「改善点がある」の内容  
 ・漁港を大きくした方がよい(6件)  
 ・冠水の恐れがある、護岸などの嵩上げが必要(5件)  
 ・砂の堆積などを解消してほしい(2件)  
 ・出荷作業やネット洗い等できる施設がほしい(3件)  
 ・全船、出荷時に漁港に入れない(1件)  
 ・一般住民にも利用価値のある  
 公共施設があれば良いと思う(2件)  
 ・ゴミや悪臭等の環境、美化管理(4件)

### 問12【その他効果】



**問12【その他の効果】**  
 この事業を行い、漁港が完成したことによって、地域活性化に結びついたなど、「事業目的」に掲げたもの以外に、良い効果があったと思いますか。

■「効果があった」の内容  
 ・祭り、イベント等で利用できるようになった(12件) ※後潟  
 ・地域防災の拠点となった(4件) ※後潟  
 ・漁港、海岸、景観等がきれいになった(6件)  
 ・釣り人やレクリエーション客等が増えた(8件)  
 ・漁業者の効率アップ、漁獲物の流通に  
 とても良い効果が出ている(1件)  
 ・地域の活性化(2件)

■「どちらとも言えない」の内容  
 ・整備される以上、効果が上がるはず(2件)  
 ・漁業者が施設内を通っただけで嫌な顔をした。  
 漁業者だけの物ではない(1件)

### 問13【漁港整備事業に対するその他意見】

アンケート対象事業について、その他のご意見・ご要望がございましたら、お聞かせください。

- ・漁港や漁港周辺のゴミなどの対策が必要(5件)
- ・奥内漁港は用地不足、拡幅が必要など(3件)
- ・漁業者のモラルの向上にも目を向けてほしい(1件)
- ・一般の人にも漁港の機能を知ってもらうためにイベントを行う(1件)
- ・漁港用地に雪捨て場(仮置き場)を作ってほしい(2件)
- ・プレジャーボート用の船揚場を作ってほしい(2件)
- ・地域住民の憩いの場(公園・休憩施設等)を作ってほしい(2件)
- ・もっと地域振興に役立ててほしい(2件)

# 事後評価アンケート結果

整理番号 H24 - 2

事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	青森地区
-----	---------------	------	------

## アンケート結果

### 問14【公共事業全般に関する意見】

アンケート対象事業に限らず、公共事業全般について、ご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

- ・公共事業をする際は、関係者だけに限らず一般の人にも知らせるべき(回覧板など)(5件)
- ・道路の舗装をして欲しい(3件)
- ・地域発展のために公共事業は必要など(3件)
- ・地域に対する先見性をもって公共事業を進めてほしい(3件)
- ・排雪場所をつくってほしい、除排雪に力をいれてほしいなど(7件)
- ・津波時の避難場所を作ってほしい(1件)
- ・若者が働ける場所になってほしい(1件)
- ・多目的施設、レクリエーション施設がほしいなど(2件)
- ・もっと住民の意見を取り入れてほしい(1件)

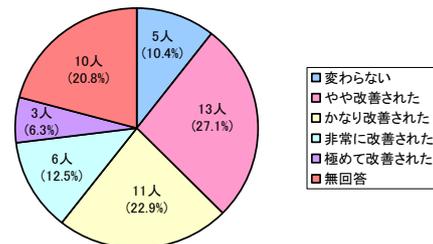
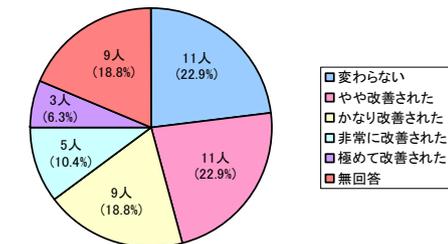
### 問15【労働環境評価】

(問3【職業】で「漁業」を選択された方を対象に)

(以下の5項目について)この事業実施により漁港での各作業環境はどの程度改善されましたか。その改善度について該当する箇所を○で記入してください。

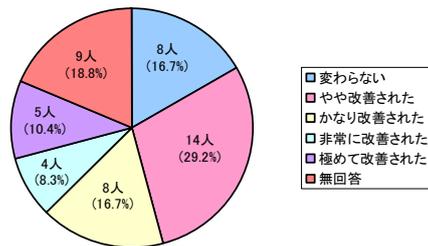
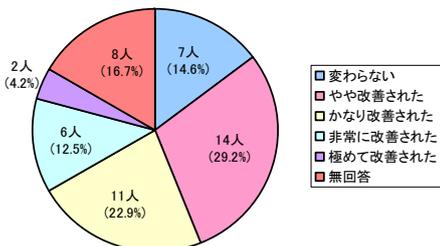
#### 問15-1【労働環境評価(ホタテ箆等洗浄作業)】

#### 問15-2【労働環境評価(廃棄物等の処理作業)】

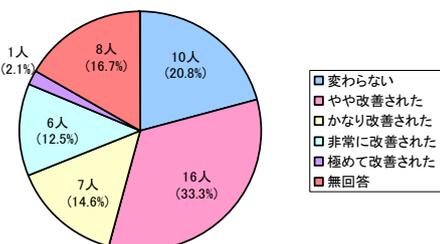


#### 問15-3【労働環境評価(漁具の流出に伴う回収作業)】

#### 問15-4【労働環境評価(ホタテ貝の運搬作業)】



#### 問15-5【労働環境評価(悪天候の際の見回り作業)】



(別紙)

## 事後評価箇所状況写真

整理番号 H24 - 2

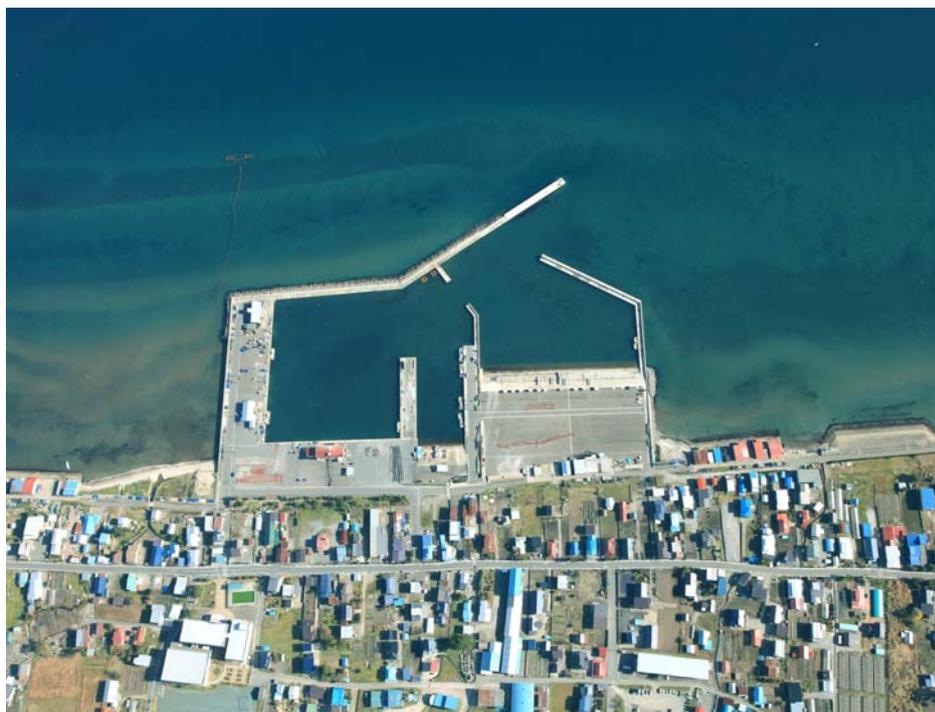
事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	青森地区
-----	---------------	------	------

### ■後潟漁港

空中写真による事業状況の推移



事業実施前(平成11年撮影)

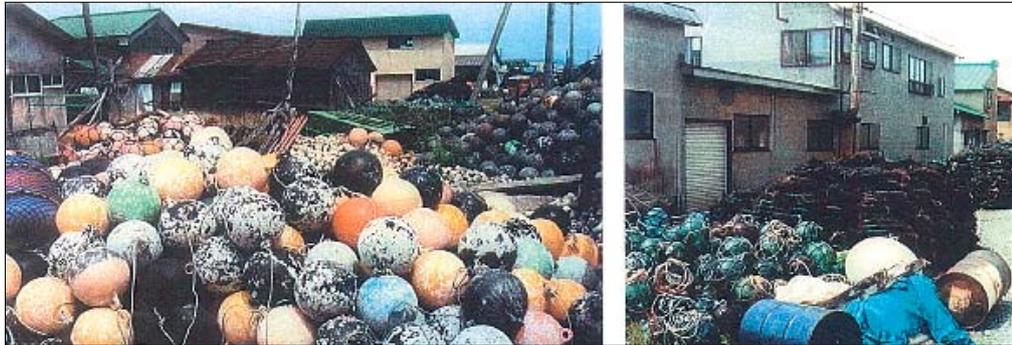


事業完了後(平成23年撮影)  
南側(写真右側)に船揚場および漁具置き場等の用地を整備した。

# 事後評価箇所状況写真

		整理番号	H24 - 2
事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	青森地区

## ■後潟漁港



事業実施前は、住宅地に保管された漁具から悪臭などが発生し、生活環境に悪影響を及ぼしていた。



事業完了後は、漁港内に整備した用地に整理された状態で保管されている。



事業完了後は、適正な勾配を有し、前面の水深が確保された船揚場が整備され、上下架用の附属設備(滑り材)も設置されたことにより、漁船の上下架作業の手間が非常にスムーズとなった。

(別紙)

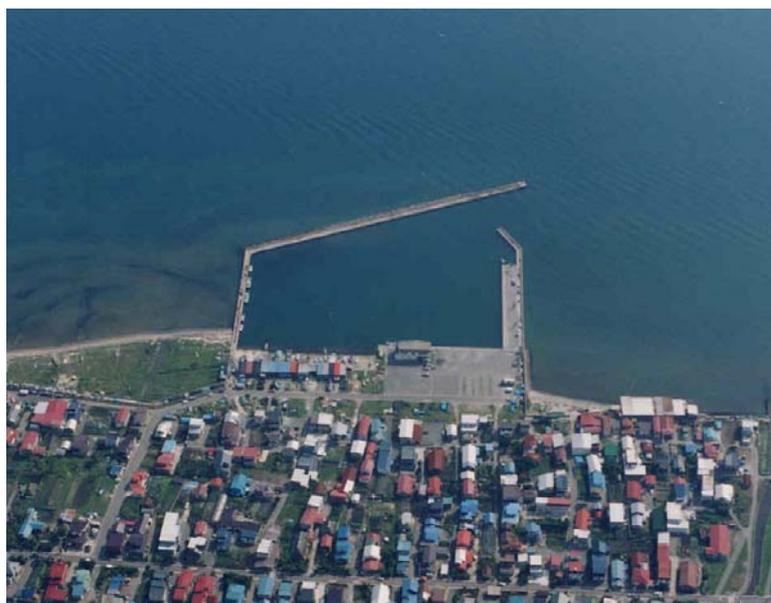
## 事後評価箇所状況写真

整理番号 H24 - 2

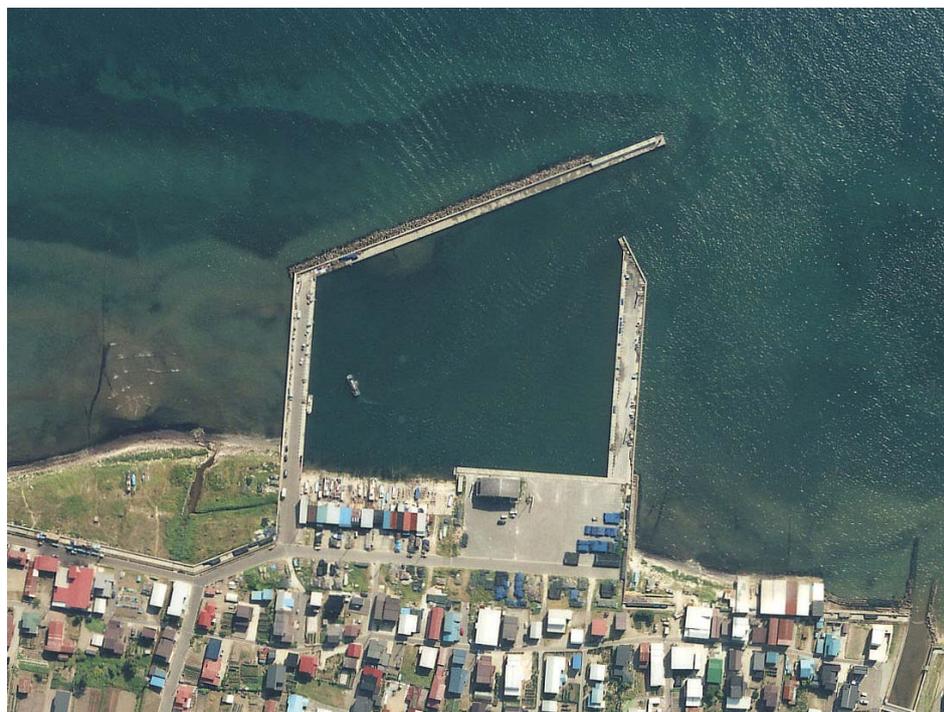
事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	青森地区
-----	---------------	------	------

### ■奥内漁港(奥内地区)

空中写真による事業状況の推移



事業実施前(平成11年撮影)



事業完了後(平成19年撮影)

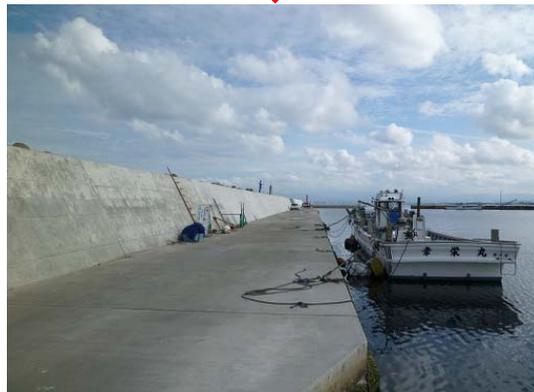
北防波堤(写真上側)の防波堤を嵩上げするとともに、突堤を整備することにより港内の静穏度が向上した。

(別紙)

## 事後評価箇所状況写真

			整理番号 H24 - 2
事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	青森地区

### ■奥内漁港(奥内地区)



事業実施前は、大きな時化の際、東防波堤からの越波により港内静穏度が非常に悪く、係船が困難となる場合があったが、事業完了後は、防波堤嵩上げにより越波が低減され、安全に係船することが可能となった。



事業完了後は、新たに物揚場が整備され、漁船の係留スペースが増えたことから、陸揚げが集中する時間でも待機時間がなく陸揚げが可能となり、作業効率が向上した。

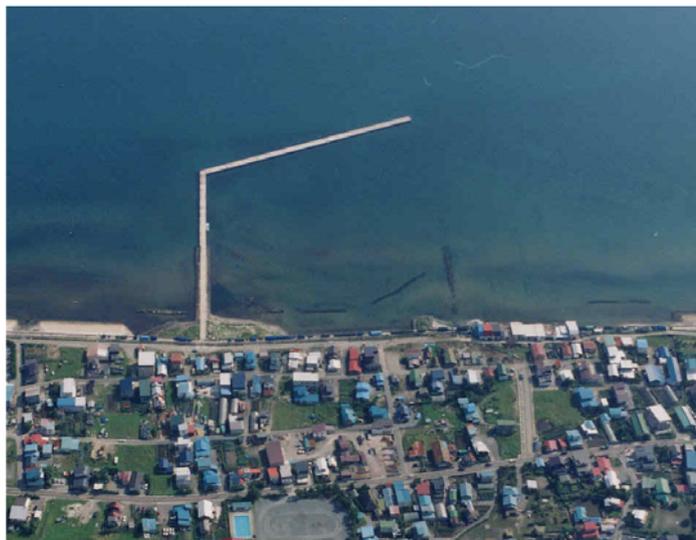
(別紙)

## 事後評価箇所状況写真

			整理番号 H24 - 2
事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	青森地区

### ■奥内漁港(飛鳥地区)

空中写真による事業状況の推移



事業実施前(平成11年撮影)



事業完了後(平成19年撮影)  
物揚場および漁具保管場所等の用地が整備された。

(別紙)

## 事後評価箇所状況写真

			整理番号 H24 - 2
事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	青森地区

### ■奥内漁港(飛鳥地区)



事業実施前は、自宅軒先などに保管されていた漁具等が、事業完了後は、整備した漁港内の用地に整理、保管されている。



事業完了後は、物揚場が整備され漁船の係留スペースが増えたことにより、出漁準備や陸揚げ作業がスムーズになった。

(別紙)

## 事後評価箇所状況写真

整理番号	H24 - 2
------	---------

事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	青森地区
-----	---------------	------	------

### ■久栗坂漁港

空中写真による事業状況の推移



事業実施前(平成11年撮影)



事業完了後(平成19年撮影)  
西側(写真中央左寄り)に漁具保管場所等の用地および荷さばき施設の前に岸壁が整備された。

(別紙)

## 事後評価箇所状況写真

			整理番号 H24 - 2
事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	青森地区

### ■久栗坂漁港



事業実施前は、低気圧などの荒天時に護岸から越波した波浪で野積場が冠水し、漁具の流失や飛散などの被害があったが、事業完了後は、護岸の嵩上げ整備により越波が低減され、被害が減少した。



事業実施前は、住宅地に保管された漁具から悪臭などが発生し、生活環境に悪影響を及ぼしていたが、事業完了後は、漁港内に整備した用地に整理された状態で保管されている。



事業完了後は、陸揚げ岸壁が前出しされ、荷捌き所前面の作業スペースが広がったことから、作業効率が向上した。

## 費用対効果分析説明資料

整理番号 H24 - 2

事業名	地域水産物供給基盤整備事業	箇所名等	青森地区
-----	---------------	------	------

## 【費用対効果の算定内】

## 1. 費用対効果の算定根拠

算定の考え方は『水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン平成23年4月改訂：水産庁漁港漁場整備部』（以下、ガイドライン）による。

費用対効果の算定には、整備に係る総費用及び維持管理費について現在価値化したものを費用(C)、奥内(奥内、飛鳥地区)・後潟・久栗坂、各地区の利用効果について貨幣化したものを便益(B)として評価するものである。

## 2. 算定の前提条件

(1) 評価基準年度：平成24年度

(2) 評価期間：事業期間+50年間(漁港漁場施設の耐用年数分)

(3) 費用及び便益の現在価値：投資額、耐用年数期間内に発生する年間便益を、現在価値化(社会的割引率4%)して用いる。

また、費用便益分析で扱う費用は、漁港デフレータ<sup>※1)</sup>を乗じ計上している。

※1) 漁港デフレータ(2011漁港漁場漁村ポケットブックより)

## 3. 総費用(C)の算定

(金額単位：千円)

項目	単純合計	基準年における現在価値	備考
①事業費	2,885,000	4,576,443	事業期間H13~H19
②維持管理費	150,000	85,576	
合計	3,035,000	4,662,019	

※事業費にはH6~H12の奥内(飛鳥)漁港改修事業の事業費1,117,000千円を含む

## 4. 総便益(B)の算定

費用便益積上法によって、「水産物生産コスト削減効果」、「漁業就業者の労働環境改善効果」、「生命・財産保全・防御効果」の各効果を計上している。積上法の計上に当たっては、地元漁業関係者等へのヒアリングにより便益の発現状況の確認、見直しが必要な便益、その他施設の供用により発現した効果を検討した。

(金額単位：千円)

項目	単純合計	基準年における現在価値	備考
①水産物生産コスト削減効果	11,507,700	6,863,979	230,154千円/年
②漁業就業者の労働環境改善効果	563,450	336,051	11,269千円/年
③生命・財産保全・防御効果	3,450	2,089	69千円/年
合計	12,074,600	7,202,118	

## 【費用対効果分析の結果】

$$B(\text{総便益})/C(\text{総費用}) = 7,202,118 \text{ (千円)} / 4,662,019 \text{ (千円)} = 1.54$$

## 公共事業再評価調書

(1/3)

整理番号 H17-17

担当部課名	農林水産部 漁港漁場整備課	電話番号	017 - 734 - 9614
		E-MAIL	gyoko@ags.pref.aomori.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 (5年)	再評価後 (年)	その他 ( )
---------	-----	-----------	----------	---------

## 1 事業概要

事業種別	水産基盤整備事業		事業主体	県 市町村 その他 ( )			
事業名	地域水産物供給基盤整備事業		地区名等	青森	市町村名	青森市	
事業方法	国庫補助	県単独	財源・負担区分	国 50%	県 40%	市町村 10% その他 0%	
採択年度	平成13年度 (用地着手 平成 - 年度 / 工事着手 平成13年度)						
終了予定年度	平成19年度 (平成 - 年 - 月 工期変更 当初計画時 平成 - 年度)						
事業目的	本地区は、陸揚量のほぼ100%をホタテ貝の海面養殖業で占めている。しかし慢性的な係留施設・用地不足により近隣の海岸保全施設または住宅地で漁獲物の陸揚及び漁具の補修・保管をしていることから、悪臭や害虫の発生等周辺環境に大きな悪影響を及ぼしている。このように不衛生な現状及び非効率な養殖関連作業を改善するため、不足している係留施設と用地・道路の整備及びそれらを保全する外郭施設等を拡充し、漁業者の就労環境及び漁港周辺環境の改善を図り、さらに主幹産業であるホタテ養殖業の振興に寄与するものである。						
主要内容	区 分		当初計画時	再評価時	増 減		
	外郭施設		715 m	1,420 m	705 m		
水域施設		10,000 m <sup>2</sup>	21,300 m <sup>2</sup>	11,300 m <sup>2</sup>			
係留施設		290 m	580 m	290 m			
輸送施設		250 m	590 m	590 m			
用 地		18,500 m <sup>2</sup>	35,800 m <sup>2</sup>	17,300 m <sup>2</sup>			
当初、奥内漁港のみの整備計画であったが、隣接する後潟漁港・久栗坂漁港と一体的な整備を図るため、後潟漁港・久栗坂漁港を当地区に追加(平成15年4月1日変更計画水産庁長官承認)したことにより増となった。							
事業費	当初計画時総事業費 340 百万円 (単位:百万円)						
		~14年度	15年度	16年度	17年度	小計	18年度~
計 画	440	350	350	308	1,448	345	1,793
(うち用地費)	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )
H17年1月変更							
実 績	440	350	350	308	1,448	345	1,793
(うち用地費)	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )

## 2 評価指標及び項目別評価

## (1) 事業の進捗状況

(A)・B・C

事業の進捗状況	事業費割合		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
	(うち用地費)		80.8% [ / ]	100.0% [ / ]
主要工種 (事業費)	外郭施設(994百万円)		97.1%	100.0%
	水域施設(79百万円)		42.8%	100.0%
	係留施設(357百万円)		58.3%	99.8%
	輸送施設(73百万円)		71.4%	100.0%
	用 地(290百万円)		65.0%	99.8%
説 明	【奥内漁港】平成13年度から工事に着手し、計画通りの工程により平成14年度に完成。 【後潟漁港】平成15年度から工事に着手し、外郭施設についてはほぼ完成し94%の整備となっている。今後は他2漁港完成につき当漁港を重点的に整備し、平成19年度完成の予定である。 【久栗坂漁港】平成14年度から工事に着手し、浚渫土砂を用地埋立材へ再利用したため、計画事業費に対して安価な事業費で平成17年度完成の予定である。			
問題点・ 解決見込み	県財政及び青森市財政が厳しい状況であり、公共事業予算が減っている現状にあるが、重点化を図りながら整備を推進するため、平成19年度完成の見込みである。			
事業効果 発現状況	【奥内漁港】完成したため、養殖作業場の整備に伴うホタテ養殖作業の効率化等の効果が全て発現している。 【後潟漁港】現在までの進捗状況は63%と順調に進捗しており、今後は地元漁業者からの要望の多い係留施設・水域施設・用地等の重点整備を図る。養殖作業場の整備に伴うホタテ養殖作業の効率化等の効果発現により、漁業生産性が向上するものと考えられる。 【久栗坂漁港】用地整備による養殖作業時間(洗浄時間)の短縮等の効果が発現している。			

## (2) 社会経済情勢の変化

(A)・B・C

社会的評価	全国・本県における評価	【全国の評価】 ・水産物の安定供給への貢献 ・沿岸域の環境保全・創造の推進 ・漁村の総合的な振興	【県内の評価】 漁港と漁場を水産資源の増殖から漁獲、陸揚げ、流通、加工までの一貫した水産物供給システムの基盤としてとらえ、総合的かつ計画的に整備して進める。
	当地区における評価	当該地区は、沿岸漁業、特にホタテ養殖が盛んであり地域経済を支える重要な役割を果たしている。しかし、近年の価格の低下や漁業従事者の高齢化と後継者不足など水産業を取り巻く情勢は非常に厳しい状況にある。このことから安全で女性や高齢者にやさしく、後継者支援につながる就労環境の向上を目指した漁港漁場整備が強く望まれており、当地区が今後も水産物の供給に重要な役割を果たしていくためにも、漁業従事者が安全で効率的な漁業活動を行える環境づくりに努める必要がある。	
必要性	慢性的な係留施設・用地不足により近隣の海岸保全施設、または住宅地で漁獲物の陸揚げ及び漁具の補修・保管をしていることから、悪臭や害虫の発生等周辺環境に大きな悪影響を及ぼしている。このように不衛生な現状及び非効率な養殖関連作業を改善するため、本事業により係留施設及び用地を集約させ整備することで、漁船の安全係留を可能にし、また漁具の修理・保管場所を確保して漁業活動の軽労化・安全性・効率化の向上、周辺環境の改善を図る。ひいては地域経済の振興にも寄与するものである。		(a)・b
適時性	青森市では青森市長期総合計画「21世紀創造プラン」の中で「農林水産業を含む地域産業の高度化」を掲げており、また平成9年3月に市の水産業の振興を図る上での指針として、さらに漁協、漁業者及びホタテ加工業者の自らが行う参考として「青森市水産振興計画」を策定し、その実現に向けて取り組んでいる。基本方針は「ホタテ産業の振興」「新たな漁業による生産性向上」「漁業経営基盤の強化」「生産基盤の整備」「漁業環境の保全」であり、そのための漁港施設等水産基盤整備の拡充が重要な役割を担っている。		(a)・b
地元の推進体制等	青森市漁業協同組合の要望を基に長期計画の策定を行っており、平成13年に事業基本計画が水産庁長官の承認を得ている。 なお、事業基本計画申請時には、青森市漁業協同組合の同意も得ている。		(a)・b
効率性	・資源管理型漁業、つくり育てる漁業への支援 ・自然環境の保全と創造 ・安全で快適な漁業地域の形成 ・生産労働効率化、近代化、担い手支援		

## (3) 費用対効果分析の要因変化

(A)・B・C

区分	主な項目	当初計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1) 漁港施設	1,574 百万円	3,183 百万円	1,609 百万円
	(2)	百万円	百万円	0 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総費用	1,574 百万円	3,183 百万円	1,609 百万円
便益項目 (B)	(1) 水産物生産コストの削減効果	2,060 百万円	5,317 百万円	3,257 百万円
	(2) 生活環境の改善効果	- 百万円	529 百万円	529 百万円
	(3) 避難・救助・災害対策効果	- 百万円	139 百万円	139 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総便益	2,060 百万円	5,985 百万円	3,925 百万円
B / C		1.31	1.88	
【費用対効果分析手法】(分析手法、根拠マニュアル等) ・水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン(暫定版) 平成14年3月 - 水産庁漁港漁場整備部 -				
【費用対効果分析における特記事項】 ・当初、奥内漁港のみの整備計画(H13)であったが、隣接する後潟漁港・久栗坂漁港と一体的な整備を図るため、後潟漁港・久栗坂漁港を当地区に追加したことがB/C増加の主要因となっている。 ・計画策定時の労働単価(H11)が、再評価時(H14)に上昇している。				

(4) コスト縮減・代替案の検討状況		(A) · B · C
コスト縮減	【コスト縮減の検討状況】 実施断面決定時には、経済性を考慮した断面比較を行い、コスト縮減に取り組んでいる。	(a) · b
代替案	【代替案の検討状況】 地形条件や施工条件を勘案したそれぞれの工法で施設配置を決定しており、現段階での代替案の可能性は無い。	(a) · b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点		(A) · B · C															
住民ニーズの把握状況	【住民ニーズの把握方法】 計画策定・事業実施に当っては、受益者となる地元の漁業者からのヒアリングを実施し、具体的なニーズの把握に努めている。また、地元漁業関係者、市および事業主体である県との事業執行のための漁業調整を完了している。	(a) · b															
環境影響への配慮	<table border="1"> <thead> <tr> <th>地域区分</th> <th>A4c</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)対応状況</td> <td>配慮している 配慮していない</td> </tr> <tr> <td>(2)対応内容</td> <td>奥内漁港の東防波堤や後潟漁港の南防波堤、久栗坂漁港の西護岸等の基礎捨石が新たな藻場の形成に寄与し、えさ場や生物相の生息環境の場となる。</td> </tr> </tbody> </table>	地域区分	A4c	(1)対応状況	配慮している 配慮していない	(2)対応内容	奥内漁港の東防波堤や後潟漁港の南防波堤、久栗坂漁港の西護岸等の基礎捨石が新たな藻場の形成に寄与し、えさ場や生物相の生息環境の場となる。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>【開発事業等における環境配慮指針への対応】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1)対応状況 配慮している 配慮していない</td> </tr> <tr> <td>(2)対応内容</td> </tr> <tr> <td>・埋立材には現場浚渫土砂を再利用し、出来るだけ同地のものを使用している。</td> </tr> <tr> <td>・周辺になじんだ既設ブロックと同型のものを使用している。</td> </tr> <tr> <td>・土砂等の運搬搬入に際し、運搬経路を施工計画書でチェックし、交通公害等に配慮している。</td> </tr> <tr> <td>・土砂採取場所のチェックをし、周辺地域の土壌等の適切な保全に努めている。</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート殻は出来るだけ現場再利用し、アスファルト殻は再生プラントへ搬入している。</td> </tr> </tbody> </table>	【開発事業等における環境配慮指針への対応】	(1)対応状況 配慮している 配慮していない	(2)対応内容	・埋立材には現場浚渫土砂を再利用し、出来るだけ同地のものを使用している。	・周辺になじんだ既設ブロックと同型のものを使用している。	・土砂等の運搬搬入に際し、運搬経路を施工計画書でチェックし、交通公害等に配慮している。	・土砂採取場所のチェックをし、周辺地域の土壌等の適切な保全に努めている。	・コンクリート殻は出来るだけ現場再利用し、アスファルト殻は再生プラントへ搬入している。	(a) · b
地域区分	A4c																
(1)対応状況	配慮している 配慮していない																
(2)対応内容	奥内漁港の東防波堤や後潟漁港の南防波堤、久栗坂漁港の西護岸等の基礎捨石が新たな藻場の形成に寄与し、えさ場や生物相の生息環境の場となる。																
【開発事業等における環境配慮指針への対応】																	
(1)対応状況 配慮している 配慮していない																	
(2)対応内容																	
・埋立材には現場浚渫土砂を再利用し、出来るだけ同地のものを使用している。																	
・周辺になじんだ既設ブロックと同型のものを使用している。																	
・土砂等の運搬搬入に際し、運搬経路を施工計画書でチェックし、交通公害等に配慮している。																	
・土砂採取場所のチェックをし、周辺地域の土壌等の適切な保全に努めている。																	
・コンクリート殻は出来るだけ現場再利用し、アスファルト殻は再生プラントへ搬入している。																	
地域の立地特性	都市計画																

### 3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続	計画変更	中止	休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	本事業により安全で快適な漁業地域の形成、生産労働効率化・近代化・担い手支援の効果が期待できる。また本事業に対する地元要望や必要性も高く、費用対効果が当初計画時よりも上回っており、B/C=1.88と経済的だと評価できることから、本事業の必要性及びその効果は高いと判断される。			
備考				

### 4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり	対応方針(案)を修正すべき
委員会評価	継続	計画変更 中止 休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見		
評価理由		